

# 教の協だより

東山梨教育協議会  
No. 3

事務局  
Tel : 33-2635  
Fax : 33-3944  
Mail : kenkyu@e103.net

# 教育講演会のお知らせ

埼玉県立 秩父特別支援学校 教諭

高橋 浩美 先生 (旧姓：坂本)

**演題** 音楽で心をつなぐ  
～「旅立ちの日に」とその後～

卒業式定番の合唱曲「旅立ちの日に」の誕生から学ぶこと

今年度の教育講演会は、卒業式定番の合唱曲「旅立ちの日に」の作曲者 高橋浩美先生（作曲当時は坂本浩美先生）をお招きします。

1988年春、高橋先生は、校長の小嶋登先生（故）とともに埼玉県秩父市立影森中学校に赴任しました。赴任早々、「よお、ひろみちゃ～ん」と、詰め襟の制服を着崩した生徒に呼びかけられます。今でこそ、歌の学校としてその名が有名な影森中学校も、当時は歌うことに対してあまり積極的とは言えませんでした。校歌も生徒の半分程度しか歌わない状態で、小嶋校長先生にはほとんど聞こえなかったと言います。小嶋校長先生は元々英語の教諭でしたが、「歌は心を健康にする」の信条のもと、前任校でも合唱指導に力を入れ成果を得ていました。そして、赴任の挨拶とともに「歌声が響く学校を目指そう！」と言い、合唱で学校を立て直すとりくみが始まりました。校舎のあちらこちらには、「歌声の響く学校」のスローガンが張られました。当時の状況から考えて、音楽教諭である高橋先生にとってはとても大きなプレッシャーでした。音楽の授業では、教壇に背を向けて口を開かない生徒が珍しくなく、胃薬を飲む憂鬱な毎日が続きます。

それから3年、「歌声の響く学校」を目標に掲げてきた影森中学校は、すばらしい歌声が響き渡る学校になりました。高橋先生は、この3年間、何よりも頑張った生徒に何かプレゼントをしたい・・・という思いから、退職の年を迎える小嶋校長先生に作詞をお願いし、自らが作曲を行い、「3年生を送る会」で職員全員で卒業生に歌を贈りました。こうして、名曲「旅立ちの日に」が誕生しました。

夏季休業が終わると、秋の合唱シーズンを迎えます。当日は弾き語りを交えながら、明日すぐに役立つことだけでなく学校運営のヒントになるお話も聴けることと思います。また、特別支援学校の子供たちとの関わりについても触れてくださる予定です。ぜひ全会員の参加をよろしくお願いいたします。また、保護者・地域の皆様にも、積極的に声をかけていただき、教職員以外にも多くの方が参加していただければと考えております。よろしくお願いいたします。

高橋 浩美(たかはし ひろみ) 先生 プロフィール

1961年埼玉県秩父市生まれ。武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。  
秩父市立大田中学校  
秩父市立影森中学校  
狭山市立東中学校 を経て、  
現在、  
埼玉県立秩父特別支援学校教諭。



1991年、「旅立ちの日に」を秩父市立影森中学校在任中に、卒業生へのプレゼントとして作曲。その後、曲は徐々に全国の学校に浸透していく。

2004年にTV番組で放映されたのをきっかけに、学校現場だけでなく世間に広く知られ、トワ・エ・モア、ダークダックス、秋川雅史らがカバーし、2006年にSMAPが歌ったNTT東日本のCMで話題になった。

【主な受賞と作品】

文部科学大臣優秀教員(2007年)  
第51回埼玉文化賞(2008年)  
彩の国特別功労賞受賞(2011年)  
「明日に向かって」、「Song is my soul」(音楽教科書掲載)  
「きみにとどけよう」、さいたま桜高等学園校歌など

日時：8月2日(金)

受付：9:00～ 開会：9:15～

場所：花かげホール(山梨市牧丘町)

駐車場は150台程ですので、1台3名以上の乗り合わせにご協力ください。3名以上乗車の方を優先的に会場近くへ誘導させていただきます。